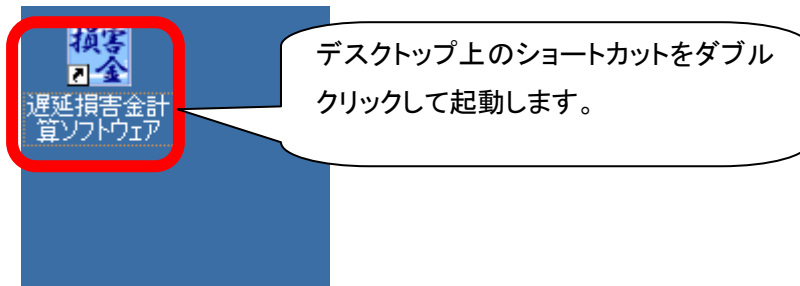


遅延損害金計算ソフトウェアの使用方法について

1. ツールの起動

(インストールの手順については遅延損害金計算ソフトウェアのインストール手順を参照してください)

デスクトップのショートカットをダブルクリック、または[スタート]–[プログラム(P)]–[法務省]–遅延損害金計算ソフトウェアをクリックします。



遅延損害金計算ソフトウェアが起動されます。

2. 計算手順の選択

本ツールで行う計算手順は、一律入力と累積入力の 2 つがあります。それぞれの計算手順は、次のようになります。

一律入力: 毎回の弁済額が一定の場合の計算を行います。

累積入力: 毎回の弁済額が異なる場合の計算を行います。

3. 一律入力の場合の操作手順

一律入力を行う場合の手順について説明します。


(1) 計算手順の選択

一律入力をクリックして、計算手順を選択します。



(2) 借入年月日の入力

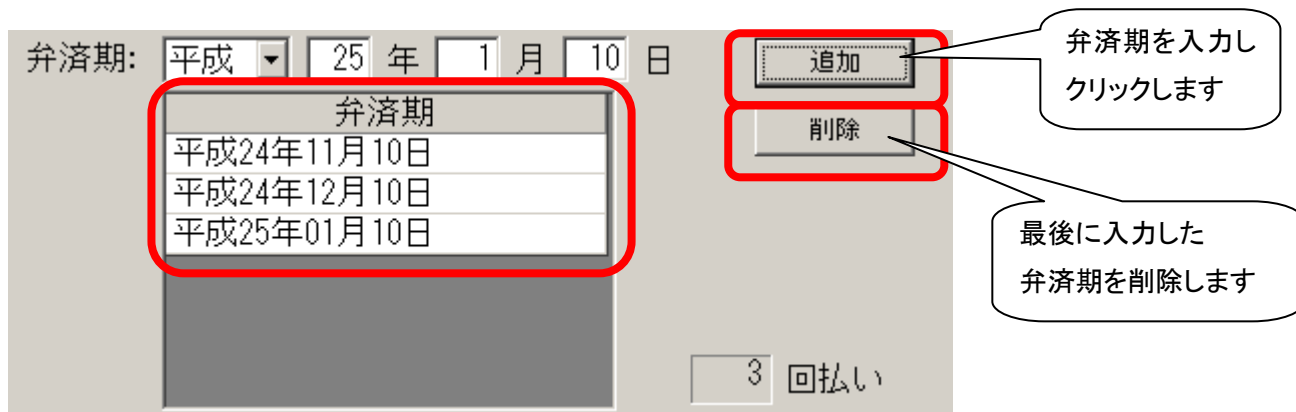
借入年月日を入力します。年号は、コンボボックスより選択できます。



(3) 弁済期を入力

弁済期を入力し、追加ボタンをクリックします。弁済期は複数入力できますが、最後に入力した弁済期以前の日付は入力できません。最後に入力した弁済期以前の日付を入力する場合には、削除ボタンをクリックし、入力したい日付以降の弁済期を削除してから入力してください。

また、弁済期は借入年月日以降の日付かつ1回目の弁済期(1行目の日付)から1年以内の日付としてください。



※ 弁済期の削除は最後に入力した弁済期から削除されます。日付を選択し削除することはできません。

(4) 提供年月日の入力

債権者に弁済の提供をした年月日(債権者が行方不明等で弁済の提供をすることができない場合には、供託をする年月日)を入力します。年号は、コンボボックスから選択できます。

提供年月日: 平成 年 月 日

(5) 債権額、1回当たりの弁済額の入力

債権額、1回当たりの弁済額を入力します。1回当たりの弁済額は、債権額以下の値としてください。

債権額:
1回あたり弁済額:

(6) 利率、損害金利率の入力

利率、損害金利率を入力します。利率は、年利・月利・日歩から選択します。

利率は、年利・月利の場合は%、日歩の場合は銭で入力します

利率: 年利 % 月利 日歩(100円あたり)

損害金利率: 年利 銭 月利 日歩(100円あたり)

年利、月利は%を表示

日歩は銭を表示

(7) 計算

[計算]ボタンをクリックし、一律入力の利息、供託金の計算を行います。



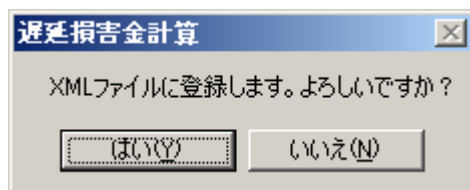
このとき、入力した値に不備等があればエラーメッセージが表示されるので、修正後に再度[計算]ボタンをクリックしてください。

(8) 計算結果の出力

計算結果を出力する場合は、[XML出力]ボタンをクリックします。

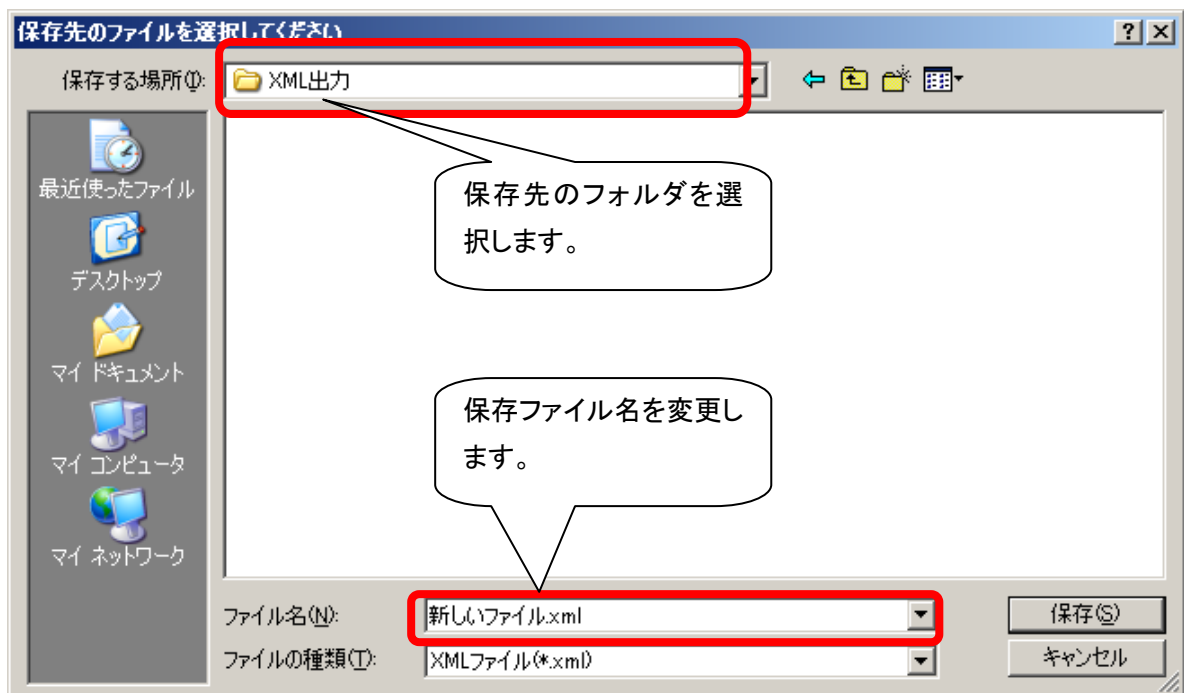


「XMLファイルに登録します。よろしいですか?」とメッセージが表示されるので、[[はい]]をクリックします。



(9) XMLファイル保存場所の選択

ファイル保存ダイアログが表示されるので、XMLファイルを保存するフォルダを選択、ファイル名を変更し、[保存]をクリックします。(デフォルトのフォルダは c:¥、ファイル名は新しいファイル.xml になります)



(10) 登録完了

登録が終了すると「登録が完了しました」とメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。

(11) 計算結果の印刷

計算結果を印刷する場合は、登録した XML ファイルをブラウザで表示し、ブラウザの印刷機能を使用して印刷してください。

4. 累積入力の場合の操作手順

累積入力を行う場合の手順について説明します。

(1) 計算手順の選択

累積入力をクリックして、計算手順を選択します。

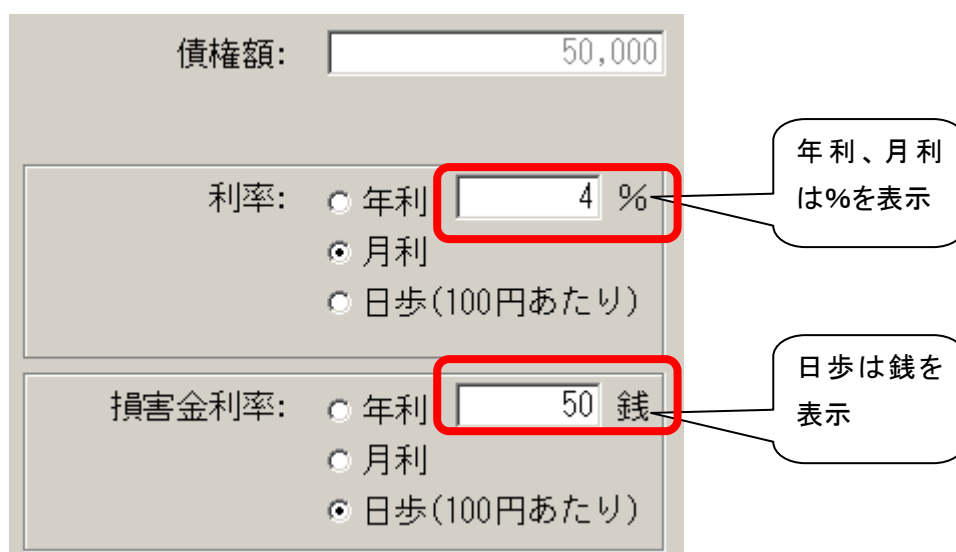


(2) 債権額、利率、損害金利率の入力

債権額、利率、損害金利率を入力します。

利率は、年利・月利・日歩から選択します。

利率は、年利・月利の場合は%、日歩の場合は銭で入力します。



(3) 期間、弁済額の入力

弁済額ごとに定められた期間を入力します。

年号は、コンボボックスより選択できます。



入力した期間とその期間の弁済額を入力し、[追加]ボタンをクリックします。

弁済額は、債権額及び残高以下の値を入力してください。



入力した期間を追加すると、追加した期間終了日の翌日が、次の期間開始日となります。

続けて、期間終了日を入力する場合は期間開始日の翌日以降の日付を入力してください。

期間開始: 平成 24 年 11 月 11 日
期間終了: 平成 年 月 日

入力した期間の弁済額、利率、損害金利率等が画面下部に表示されます。

期間開始	期間終了	債権額	利率	損害金利率	弁済額
平成24年10月10日	平成24年11月10日	¥50,000.00	4.00	50.00	¥30,000.00

債権額の残高が「0.00」になるまで追加を行います。

弁済額: 10,000
残高: 0.00

(4) 提供年月日の入力

債権者に弁済の提供をした年月日(債権者が行方不明等で弁済の提供をすることができない場合には、供託をする年月日)を入力します。提供年月日は最終の期間終了日より後の日付を入力してください。

提供年月日: 平成 25 年 2 月 10 日

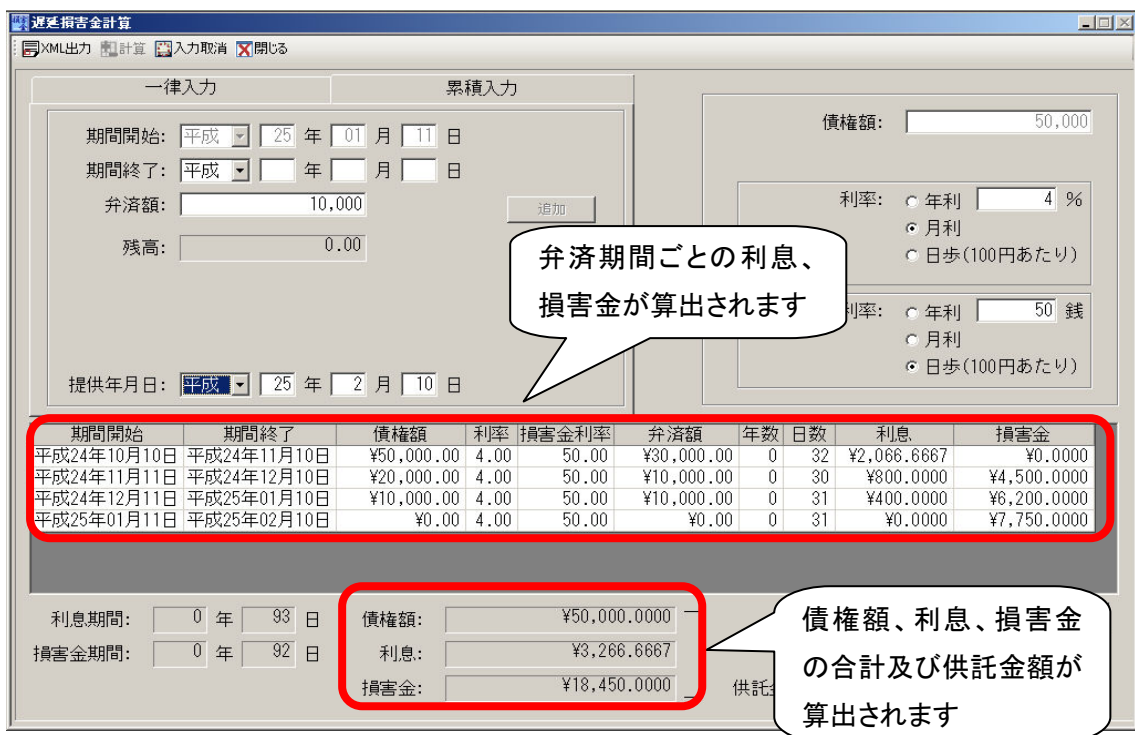
(5) 計算

残高が「0.00」になると[計算]ボタンがクリックできるようになります(残高がある場合には計算ができません)ので、[計算]ボタンをクリックして、利息、損害金利息等の計算を行います。

計算

このとき、入力値不備等がある場合にはエラーメッセージが表示されるので、入力値を修正し、再度[計算]ボタンをクリックしてください。

入力値に不備等がなければ、計算結果が表示されます。



一律入力

期間開始: 平成 25 年 01 月 11 日
期間終了: 平成 年 月 日
弁済額: 10,000
残高: 0.00

債権額: 50,000

利率: 年利 4 %
 月利
 日歩(100円あたり)

利率: 年利 50 銭
 月利
 日歩(100円あたり)

提供年月日: 平成 25 年 2 月 10 日

期間開始	期間終了	債権額	利率	損害金利率	弁済額	年数	日数	利息	損害金
平成24年10月10日	平成24年11月10日	¥50,000.00	4.00	50.00	¥30,000.00	0	32	¥2,066.6667	¥0.0000
平成24年11月11日	平成24年12月10日	¥20,000.00	4.00	50.00	¥10,000.00	0	30	¥800.0000	¥4,500.0000
平成24年12月11日	平成25年01月10日	¥10,000.00	4.00	50.00	¥10,000.00	0	31	¥400.0000	¥6,200.0000
平成25年01月11日	平成25年02月10日	¥0.00	4.00	50.00	¥0.00	0	31	¥0.0000	¥7,750.0000

利息期間: 0 年 93 日
損害金期間: 0 年 92 日

債権額: ¥50,000.0000
利息: ¥3,266.6667
損害金: ¥18,450.0000

供託

弁済期間ごとの利息、損害金が算出されます

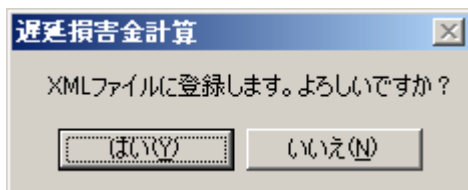
債権額、利息、損害金の合計及び供託金額が算出されます

(6) 計算結果の出力

計算結果を出力する場合、[XML出力]ボタンをクリックします。

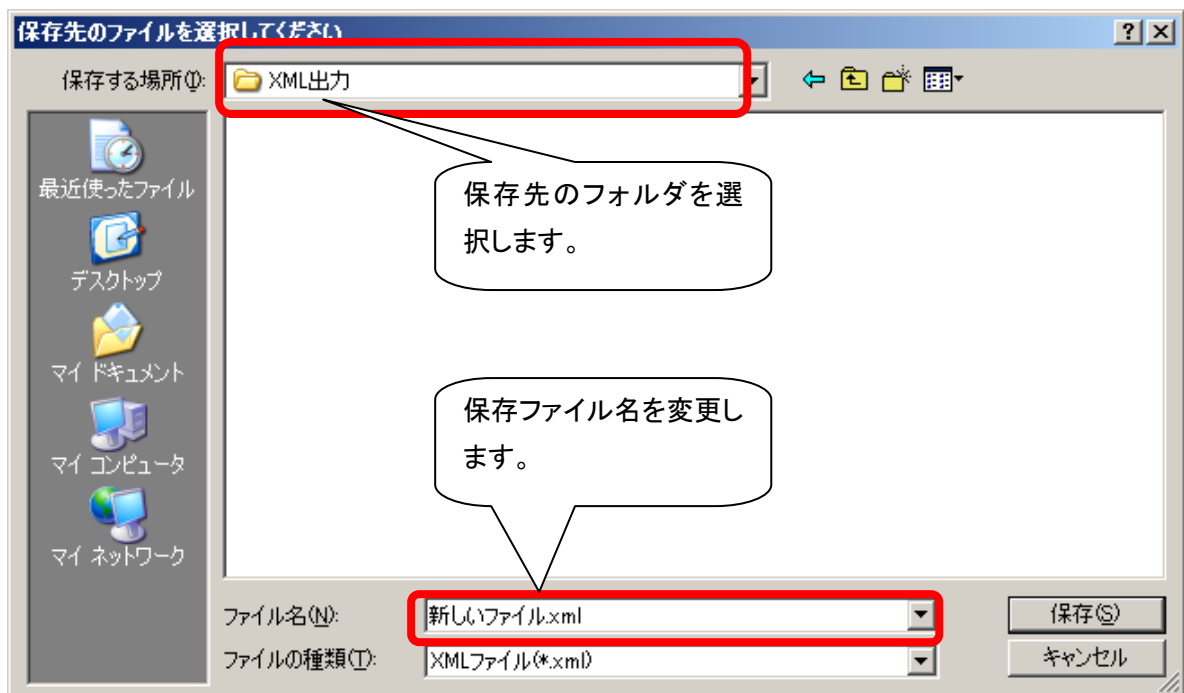
XML出力

「XMLファイルに登録します。よろしいですか?」とメッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。



(7) XMLファイル保存場所の選択

ファイル保存ダイアログが表示されるので、XMLファイルを保存するフォルダを選択、ファイル名を変更し、[保存]をクリックします。(デフォルトのフォルダは c:¥、ファイル名は新しいファイル.xml になります)



(8) 登録完了

登録が終了すると「登録が完了しました」とメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。

(9) 計算結果の印刷

計算結果を印刷する場合は、登録した XML ファイルをブラウザで表示し、ブラウザの印刷機能を使用して印刷してください。

5. エラーメッセージについて

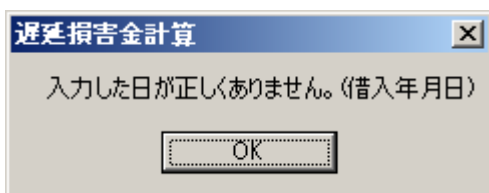
各入力項目は、ボタンをクリックすることで、妥当性をチェックしています。エラーメッセージが表示された場合は、正しい値を入力し直してください。

それぞれのエラーの内容については次のようになります。

5. 1 一律タブでのメッセージ

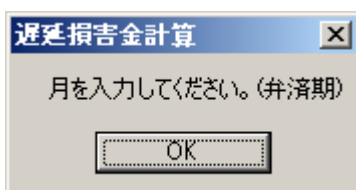
(1) 入力されている年月日が正しくない場合

存在しない日付が入力されている場合(平成 24 年 10 月 32 日等)は、以下のメッセージが表示されます。(例は借入年月日の日が正しくない場合のメッセージ)



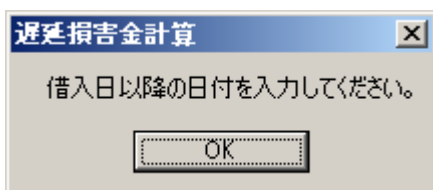
(2) 入力年月日のいずれかが未記入の場合

年月日に未入力の項目がある場合は、以下のメッセージが表示されます。(例は弁済期の月が未入力の場合のメッセージ)



(3) 弁済期の日付が借入日より前の場合

弁済期の日付に借入日より前の日付を入力した場合、以下のメッセージが表示されます。



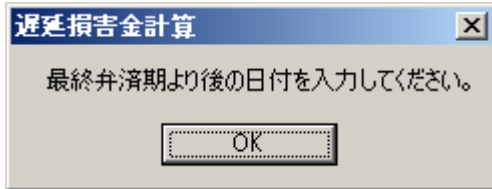
(4) 追加する弁済期の日付が 1 回目の弁済期の 1 年より後の日付の場合

1 回目の弁済期の 1 年より後の日付で弁済期を追加した場合、以下のメッセージが表示されます。



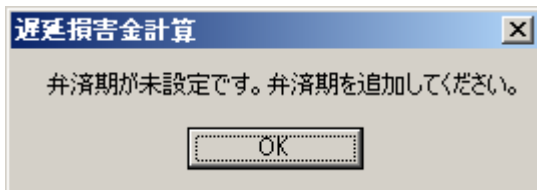
(5) 追加する弁済期の日付が最終弁済期以前の日付の場合

最終弁済期以前の日付で弁済期を追加した場合、以下のメッセージが表示されます。



(6) 弁済期を設定していない場合

弁済期を設定せずに計算ボタンをクリックした場合、以下のメッセージが表示されます。



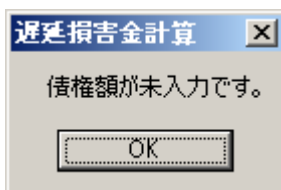
(7) 提供年月日が弁済期以前の日付の場合

提供年月日に弁済期以前の日付を入力した場合、以下のメッセージが表示されます。



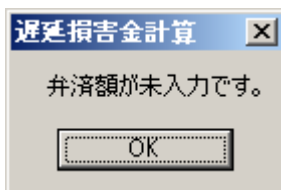
(8) 債権額が未入力の場合

債権額が未入力の場合、以下のメッセージが表示されます。



(9) 1回当たりの弁済額が未入力の場合

1回当たりの弁済額が未入力の場合、以下のメッセージが表示されます。



(10) 1回当たりの弁済額が債権額より多い場合

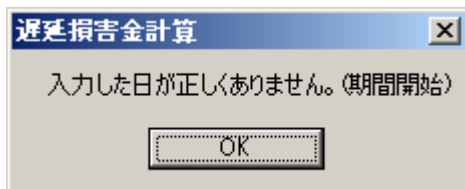
1回当たりの弁済額に債権額を越える金額を入力した場合、以下のメッセージが表示されます。



5.2 累計タブでのメッセージ

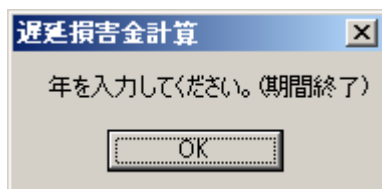
(1) 入力されている年月日が正しくない場合

存在しない日付が入力されている場合(平成 24 年 10 月 32 日等)は、以下のメッセージが表示されます。(例は期間開始の日が正しくない場合のメッセージ)



(2) 入力されている年月日が正しくない場合

年月日に未入力の項目がある場合は、以下のメッセージが表示されます。(例は期間終了の年が未入力場合のメッセージ)



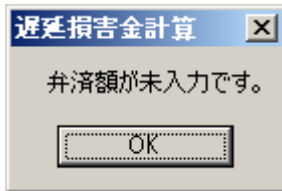
(3) 期間終了日が期間開始日以前の日付の場合

期間終了日に期間開始日以前の日付を入力した場合、以下のメッセージが表示されます。



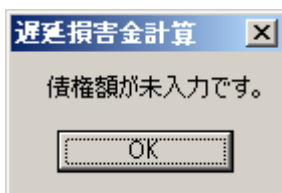
(4) 弁済額が未入力の場合

弁済額が入力されていない場合、以下のメッセージが表示されます。



(5) 債権額が未入力の場合

債権額が入力されていない場合、以下のメッセージが表示されます。



(6) 弁済額が残高より多い場合

弁済額に残高を超える金額を入力した場合、以下のメッセージが表示されます。



(7) 提供年月日が期間終了日以前の日付の場合

提供年月日に期間終了日以前の日付を入力した場合、以下のメッセージが表示されます。

